

‘縦のつながり’を深めるチャンス

三期にわたって現役だからこそできること

今、『夢甲斐塾』は、かつてない珍しい状況にあります。即ち、十三期生、十四期生、十五期生の三つの期生が、現役として同時に学んでいます。従来、前の期の塾生が所定の研修を終えて出発する「出発式」と、次の期の塾生が入塾する「入塾式」を、同じ日に行ってきました。即ち、前の期の人達を送り出して、その後、次の期の塾生を迎え入れてきましたから、二つの期生が同時に現役ということはなかったのです。

ところが、研修の仕組みを変えたこと、十三期生の研修年限を延ばしたことにより、三期にわたる塾生諸君が、同時進行で、現役として学ぶことになったのです。

ふと、この珍しい状況は、見方によれば、「大きなチャンスではないか」と私は考えました。何のチャンスか？『夢甲斐塾』では、それぞれの期生ごとの親しみや結束は強いように思います。それと比較して、縦の結束は必ずしも強くありません。一つの期生が出た後、次の期生が入るのですから、二つの期生の間にほとんど接点がありません。‘縦のつながり’ができていくのは、当然とも言えるでしょう。

今、三つの期生が同時に現役であることは、‘縦のつながり’を作るためには、格好の機会であります。大げさな言い方をすれば、『夢甲斐塾』において、‘期生を越えた縦のつながり’が芽生える歴史的なめぐりあわせとも言えます。この状況を生かさない手はありません。

そこで諸君に是非考えていただきたいのは、私が出掛けて行く「塾長例会」を、三期共通のカリキュラムとしていただくことです。まず、三期にわたる諸君が、可能な限り参加していただくことです。併せて、自己紹介を含めた、塾生同士が知り合う趣向も検討してみてください。

みんなで知恵を集めてみてください

また、これを機会に、『夢甲斐塾』の‘縦のつながり’を結んでいく方法をみんなで考えてみてください。例えば、期生を越えた研究会を立ち上げるとか、期生ごとの学びの内容の紹介をし合うとか、方法は限りなくあります。あるいは、私からの提案を誰が受けて、どのように検討し合うかについても、それぞれの期生ごとに相談すると共に、期生を越えた研修委員会を立ち上げるなど、方法も考えてみてください。

幸い、今回の十五期生の募集に当たっては、十三期生諸君が、懸命に努力してくれました。おかげで、十三期生と十五期生との間には、今までとは異なる共鳴・共感があると思われれます。‘縦のつながり’を結ぶ、お膳立は、整いつつあります。次回の講座で、結論を期待しています。